

陸上競技（短距離）プログラム報告 2016年9月24日（土）中村 泰雄

ウォーキング中の植物観賞ではマテバシイを見てもらいました。ウォーキングのスタートポイントから約300mの地点、その外側のサイクリングコースの、そのまた外側でドングリに似た実を付けています。

配布プリントもマテバシイで作りました。何時もながらのB5の用紙を縦に使い、その上辺中央に『馬刀葉椎』とタイトルを示し、その下に枝に生っている実の画像を貼り付け、その下の記事ではマテガシ、マタジイ、トウジイ等々の別名を列挙し、日本の固有種で、房総半島の南端から西南諸島の温暖な沿岸に自生し、実はそのまま炒って食用になることなどを書きました。

私は磯野コーチ指導の準備運動が始まるのを待って、北駐車場からジョギングコースに上る階段の前に向かいました。此処でジョギングコースからサイクリングコースに出て、マテバシイの生えている現場に向かおうという事です。

此処で待つこと十分、五～六m間隔で百mほどの行列になったウォーキングの一団が見えてきました。磯野コーチの発案で揃えたお揃いのシャツと短パンの目立つこと。

先頭が到着してから三分ほどで最後尾(と思われる)アスリートが到着しました。そこでウォーキングの一行を、マテバシイの木に案内して、楕円形の葉と地面に散らばっている実を見てもらい、プリントの内容をざっと繰り返しました。ファミリーの中にはこの樹を知っていた人も居て、『マテバシイ』を『待てば椎』と聞いて『時間が経てば椎の木に成るって?』と怪訝に思っていた人も居たようで、『葉がマテ貝に似た椎の木』と言う説明に納得していました。またアスリートの中には地面に落ちたマテバシイの実を拾い集めている子も居て、今回の植物観賞は概ね成功であったと自画自賛しています。

ウォーキングの後は、二千メートル、千メートル、四百メートルを走ってタイムを取り、最後は七十メートルを一本走り、整理運動の後に、十一時五十分、KY君のリードでSON埼玉のエールを叫んで、今にも降り出しそうな曇天下のプログラムをめました。